

## 研究概要の情報公開原稿

「多目的コホートにおいて収集された試料等を用いた、多層的オミックス技術の活用によるがん予防など健康持続のための包括的研究」

### 研究対象：

多目的コホート研究（JPHC Study）においてベースライン時（コホート I は 1990 年、コホート II は 1993 年）および 5 年後調査時に血液を提供した方を対象とします。

### 研究の概要：

多目的コホート研究（JPHC Study）において採取・保存されている血液試料からゲノム・エピゲノムをはじめとするオミックスデータ（\*）を取得し、環境要因と組み合わせながら、疾病罹患・死亡との関連を検討する研究です。

\*オミックスデータとは、DNA や RNA、タンパク質、代謝物などの生体分子情報を最先端の技術で解析して得られるデータを指します。

### 研究の意義：

血液試料から得られるゲノム・エピゲノムをはじめとする各種生体分子情報の各疾患への影響が明らかとなり、さらに環境要因との組み合わせにより、個人の生体分子情報に基づく疾病予防法の解明が進むことが期待されます。これにより日本人における健康維持のための合理的な手法が示され、日本人全体の健康の向上に貢献できる可能性があります。

### 目的：

多目的コホート研究（JPHC Study）において採取・保存されている血液試料からゲノム・エピゲノムをはじめとするオミックスデータを取得し、環境要因と組み合わせながら、がん、循環器疾患（脳卒中・心筋梗塞）、糖尿病をはじめとする国民の生活の質の低下や平均寿命前の死亡に帰結する疾病・傷害等との関連を検討し、健康維持手法の開発に資することを目的としています。

### 方法：

<研究デザイン>コホート研究（コホート内症例対照研究、ケース・コホート研究など）

<血液試料の測定・分析>

血漿中の脂質関連マーカー、炎症関連マーカー、ウイルス・細菌などの感

染マーカー、栄養素関連マーカー、ホルモン関連マーカー、化学物質など分析を行います。また、遺伝子多型などのゲノム情報解析、DNA メチル化などのエピゲノム解析、血漿中エクソーム内の miRNA の分析などのトランスクリプトーム解析、血漿検体を用いたプロテオームおよびメタボローム解析を行います。

<対象者>岩手県二戸、秋田県横手、長野県佐久、沖縄県石川、東京葛飾（以上、1990 年開始のコホート I）、茨城県水戸、新潟県柏崎、高知県中央東、長崎県上五島、沖縄県宮古（以上、1993 年開始のコホート II）の 10 保健所管内に、研究開始時点で居住していた地域住民約 12.3 万人のうち、研究開始時および 5 年後に血液の提供のある者が対象となります。ただし、追跡開始後に不適格であると認められた方（外国人、対象地域外に居住、年齢不適判明者）、本研究での試料等の利用を拒否した方は除外されます。

本研究の対象者のうち、住所が判明している方には、研究内容についての説明文書を送付いたしました。また既に亡くなっている方や住所が不明確などの理由で郵送が不可能であった方のために、多目的コホート研究のホームページ (<http://epi.ncc.go.jp/jphc/>) に同じ説明文書を公開しています。

個人情報保護に関する配慮：

本研究で取り扱う個人情報については、厚生労働省多目的コホート研究班・個人情報保護安全管理措置マニュアルに従って、対象者に危険・不利益が及ばないように厳格に管理しています。また、今回の研究対象者のデータは、国立がん研究センターがん予防・検診研究センター情報管理室で、新たに研究用の識別番号をつけたうえで研究に使用します。多目的コホート研究で用いられる研究用の識別番号と、本研究で新しくつけた識別番号の対応表は、「「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」適用研究における個人情報取扱細則」が定めるゲノム研究個人情報管理者（国立がん研究センターがん予防・検診研究センター長）によって厳重に管理され、本研究にかかわる研究者はこの対応表にアクセスできません。このような形で情報管理の徹底を図っています。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

多目的コホート研究事務局

国立がん研究センター がん予防・検診研究センター 予防研究部内

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

電話 0120-220-510

ホームページ：<http://epi.ncc.go.jp/jphc/>

Email: [jphcadmin@ml.res.ncc.go.jp](mailto:jphcadmin@ml.res.ncc.go.jp)